

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第184号	
事故等種類	衝突（棧橋）	
発生日時	平成22年9月5日 01時30分ごろ	
発生場所	広島県尾道市尾道糸崎港 尾道灯台から真方位220° 360m付近 （概位 北緯34° 24.0′ 東経133° 11.6′）	
事故等調査の経過	平成22年10月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	引船 ^{だいこう} 大興丸、19トン 船舶番号、船舶所有者等 273-10077広島、有限会社大鳳海運	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	本船 なし 棧橋 固定用の錨が移動	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、尾道糸崎港において、後進により離岸作業中、平成22年9月5日01時30分ごろ、船尾部が棧橋に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、尾道糸崎港において、後進により離岸作業中、船長が、速力と棧橋との距離を適切に把握していなかったことから、後進から前進への操作が遅れ、船尾部が棧橋に衝突したのと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、尾道糸崎港において、後進により離岸作業中、船長が、速力及び棧橋との距離を適切に把握していなかったため、後進から前進への操作が遅れ、船尾部が棧橋に衝突したことにより発生したのと考えられる。	